

問1 平安時代中期に、貴族社会を題材とした長編物語『源氏物語』を執筆した女性作家は誰？

1. 紫式部 2. 清少納言 3. 和泉式部 4. 菅原孝標女

問2 894年に菅原道真の提案によって中止され、日本独自の文化を発展させるきっかけとなった出来事を何という？

1. 長岡京遷都 2. 大化の改新 3. 遣唐使の廃止 4. 平城京遷都

問3 平安時代に瀬戸内海地方で海賊を率いて反乱を起こした人物は誰？

1. 平将門 2. 平貞盛 3. 藤原秀郷 4. 藤原純友

問4 平安時代に地方政治の乱れに乗じて力をつけ、やがて中央政治にも影響を与えた存在を何という？

1. 僧侶 2. 武士 3. 貴族 4. 農民

問5 平安時代に宮廷の出来事や自然の美しさを短文でつづった、日本最古の随筆を著した女性是谁？

1. 和泉式部 2. 紫式部 3. 清少納言 4. 菅原孝標女

問6 日宋貿易で力をつけた平氏一族が厚く信仰した、安芸国にある神社を何という？

1. 春日大社 2. 日光東照宮 3. 出雲大社 4. 厳島神社

問7 平安時代中期、天皇の後を出すことで政治の実権を握った代表的な一族は誰？

1. 藤原氏 2. 源氏 3. 平氏 4. 橘氏

問8 空海が開いた高野山の金剛峯寺が総本山である、平安時代に広まった仏教の宗派を何という？

1. 法相宗 2. 真言宗 3. 浄土宗 4. 天台宗

問9 平安時代後期に貴族の間で流行した、死後に阿弥陀如来の助けを借りて極楽浄土へ生まれ変わることを願う考え方を何という？

1. 浄土信仰 2. 禅宗 3. 密教 4. 儒教

問10 比叡山で修行を積み、後に鎌倉時代に新しい宗派を広めた指導者たちの総称を何という？

1. 原始仏教 2. 南都北嶺の仏教 3. 鎌倉新仏教 4. 平安二宗

問11 平安時代中期に『枕草子』を著し、宮廷生活の機微を描いた人物は誰？

1. 小野小町 2. 和泉式部 3. 紫式部 4. 清少納言

問12 平安時代中期に、地方の統治や徴税などの実務を一任された地方官を何という？

1. 郡司 2. 国司 3. 太宰帥 4. 目代

問13 939年、関東地方を拠点として朝廷に反旗をひるがえした武士は誰？

1. 藤原純友 2. 藤原秀郷 3. 平将門 4. 平貞盛

問14 平安時代中期、かな文字が普及し、日本の風土や生活感情が反映されるようになった、日本独自の文化を何という？

1. 国風文化 2. 鎌倉文化 3. 天平文化 4. 室町文化

問15 平安時代初期、地方政治の立て直しを図り、国司への監督を強化した天皇は誰？

1. 聖武天皇 2. 後醍醐天皇 3. 天武天皇 4. 桓武天皇

答え合わせ・解説

問1	答え 1 紫式部	紫式部は藤原道長の娘に仕えた女房であり、宮廷社会の複雑な恋愛や人間模様を描いた長編小説『源氏物語』を執筆しました。当時の貴族の優雅な生活や、内面的な感情まで細やかに描き出したこの作品は、日本文学の最高峰とされています。
問2	答え 3 遣唐使の廃止	894年、朝廷で活躍した菅原道真の建議により、遣唐使の派遣は停止されました。この決定により、それまで唐から学んでいた制度や文化の影響が弱まり、日本独自の「国風文化」が発展する契機となりました。
問3	答え 4 藤原純友	藤原純友は、瀬戸内海を拠点とする海賊のリーダーとして勢力を持ち、朝廷に対して反旗をひるがえしました。同時期に関東で平将門が起こした乱と合わせて「承平・天慶の乱」と総称されます。海と陸の二大拠点で同時に反乱が起きたことは、朝廷の地方支配の弱体化を如実に示しました。
問4	答え 2 武士	武士は、自らの土地や一族の生活を守るために武装した、地方の豪族や有力者たちです。彼らは互いに団結して武士団を形成し、朝廷の命を受けて反乱の鎮圧などを担うことで、次第に力を蓄えていきました。
問5	答え 3 清少納言	清少納言は、中宮定子に仕える中で見聞きしたことや、四季の美しさなどを鋭い観察眼で書き記しました。これが日本最古の随筆である『枕草子』です。理知的な文体と、当時の宮廷社会の様子を描いた内容が特徴です。
問6	答え 4 厳島神社	平氏一族は、安芸国にある厳島神社を厚く信仰し、社殿を豪華に造り替えました。海に浮かぶようなその姿は、当時の建築技術の高さと、貴族化した平氏の優雅な文化を今に伝えています。
問7	答え 1 藤原氏	藤原氏は、自分の娘を天皇に嫁がせて生まれた子を次代の天皇にすることで、天皇の親戚（外戚）として権力を振るいました。藤原道長の時代に全盛期を迎え、朝廷の主要な官職を独占しました。
問8	答え 2 真言宗	真言宗は、空海が唐から持ち帰った密教の教えに基づく宗派です。呪文や曼荼羅（まんだら）を用いて悟りを開くことを目指す点が大きな特徴です。高野山にある金剛峯寺は、現在も真言宗の総本山として広く知られており、当時の貴族たちからも厚い帰依を受けていました。
問9	答え 1 浄土信仰	浄土信仰は、阿弥陀仏を信じ、その名（南無阿弥陀仏）を唱えれば、死後に極楽浄土へ行けることという教えです。当時の貴族たちは、自分の館や寺院の建物に阿弥陀仏を安置し、豪華な飾りつけをすることで、現世に極楽浄土を再現しようとしていました。平等院鳳凰堂はその代表例です。
問10	答え 3 鎌倉新仏教	比叡山延暦寺は、当時最高の仏教教育機関でした。そこで学んだ法然、親鸞、道元、日蓮、栄西などは、厳しい修行や学問が困難な民衆や武士のために、より平易な教えを創設しました。これが鎌倉新仏教と呼ばれる一連の宗派です。「専修念仏」や「坐禅」など、個人の信仰のあり方を重視したのが特徴です。
問11	答え 4 清少納言	清少納言は、中宮定子に仕えた女房です。彼女の代表作『枕草子』は、「春はあけぼの」という有名な書き出しで始まる随筆です。宮廷生活の中での出来事や、自然の美しさに対する鋭い観察眼と、彼女自身の機知に富んだ考え方がユーモアを交えてつづられています。当時の貴族社会の価値観や美的センスを知るための極めて重要な資料です。
問12	答え 2 国司	国司は地方の政治や徴税を一手に引き受ける地方官です。この職に就くことは、地方の富を吸収できるため、貴族たちにとって大変うまみのあるポストとされていました。
問13	答え 3 平将門	平将門は、関東の有力者として朝廷の支配に対して反乱を起こしました。勢力を拡大した将門は、自らを「新皇」と名乗り、独立した政権の樹立を目指しました。この乱は、当時の朝廷に大きな衝撃を与えました。
問14	答え 1 国風文化	国風文化は、かな文字の発明によって大きく開花しました。ひらがなの普及により、和歌や日記、物語などの自由な表現が可能となり、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』といった作品が誕生しました。また、絵画では大和絵、建築では寝殿造など、日本の四季や風土に調和したスタイルが確立されました。
問15	答え 4 桓武天皇	桓武天皇は長岡京を経て平安京へ都を移し、国家の立て直しを行いました。地方行政の主役である国司を中央から厳しく監視し、不正を防ごうとしました。また、蝦夷の平定にも力を注ぎました。